

## 政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		文化財課
	06	01	01	08	01	

政策
専門職の人材育成

### 政策の内容

文化財の保存及び活用に携わる専門職の育成に取り組みます。

### 生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
歴史文化への愛着	あなたの暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じますか。	2.89	2.90				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

### 現状・課題

本市には多様な文化財が存在し、その数も他の政令指定都市と比較して多い。適切な保存と活用のためには、継続的な専門人材の採用と職員研修が必要である。埋蔵文化財に関しては、特に発掘調査に係る高度な知識と技能が求められるほか、古文書・歴史的建造物・彫刻・絵画・工芸品等の有形文化財や無形民俗文化財、史跡、天然記念物、地域性と深く関わる有形民俗文化財においても、一般的事務作業を超えた相談への対応や判断が求められる場面が多い。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	1,049	1,601			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	0.1	0.1			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	0.0	0.0			
再任用職員(31時間勤務)	0.0	0.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
学芸員資格所有者の知識・技能向上	関係機関等が開催する外部研修に参加する。	1,601

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
学芸員資格を所有する正規職員が参加した文化財課業務に係る外部研修(講師を含む)・視察の件数(件)	学芸員資格を所有する正規職員が参加した庁外の研修会等の年間実績件数	OJTのみでは得られない最新の情報や技術に触れるため、庁外で開催される研修会等は積極的に活用する必要がある。	目標値	-	19	19	20	20	21
			実績値	18	29				
			達成率	-	152.63%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
文化財課業務に係る外部研修(講師を含む)・視察に参加した学芸員資格を所有する正規職員の延べ人数(人)	庁外の研修会等に参加した学芸員資格を所有する正規職員の年間実績人数	年齢、経験等に基づき、適切な研修会等へ積極的に職員を参加させることは、専門人材の育成に不可欠である。	目標値	-	27	28	29	30	31
			実績値	24	35				
			達成率	-	129.63%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
学芸員資格を所有する正規職員一人当たりの研修・視察参加件数(回)		学芸員資格を所有する正規職員の研修・視察参加の延べ人数を資格所有正規職員数で割り、一人当たりの参加回数を計算する	実績値	2.67	29					3.6
			達成率	74.20%	100.83%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

**【2026年度の評価】**

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	<b>評価時に記載</b>	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
	<b>評価時に記載</b>

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載

## 政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		博物館
	06	01	01	08	02	

政策
専門職の人材育成

### 政策の内容

博物館における専門職の育成に取り組みます。  
地域の文化を支えていく人々の養成、文化施設の質を確保し、市民への学びの場としての充実を図ります。

### 生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
歴史文化への愛着	あなたの暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じますか。	2.89	2.90				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

### 現状・課題

文化財の収集・保存・研究だけでなく、教育・展示活動など、博物館に求められる社会的な役割の発揮が求められている。  
文化財の保存及び活用に向けて、中長期的な調査研究等を実施するために、学芸員の資質向上が必要である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	0	0			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	0.9	0.9			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	0.5	0.5			
再任用職員(31時間勤務)	0.0	0.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
博物館管理運営 事業	<p>学芸員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的な学芸員の人材育成を進める。</li> <li>・各分野における調査研究を進め、その成果を還元することで、市民の歴史学習を支援する。</li> <li>・外部での研究発表を通じ、浜松市のPRを図り、来市のきっかけをつくる。</li> <li>・各種研修・学会等への参加や有識者からの指導等資質向上の機会を積極的に設け、専門的な知識と技能を習得するとともに、博物館において学芸職を担うための倫理性や矜持を高める。</li> </ul>	0

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
学芸員が講演・講座等の講師を務めた件数(件)	外部での研究発表や出前講座を含む。連続講座は1件でカウント	講師を務めるには、調査研究だけでなく、説明するスキルが必要となる学芸員の育成には欠かせない要素である。	目標値	-	15	15	17	17	19
			実績値	15	25				
			達成率	-	167%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
講演・講座等の参加人数(人)	学芸員が講師を務めた講演・講座等の参加者数	会場の制約があるため、1回あたりの参加人数は制限されるものの、定期的に開催することで博物館の研究成果を発信、市民へ還元することができる。	目標値	-	300	300	340	340	380
			実績値	993	829				
			達成率	-	276%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画指標	指標の定義		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標値 2034年度
学芸員の学術的著述(館報等)の本数		学芸員の学術的著述(館報等)の本数	実績値	3	4					学芸員数 ×1.5 本
			達成率	67%	67%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

誰もが文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しみ、新たな文化が創出されている。  
多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

**【2026年度の評価】**

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	<div data-bbox="438 734 930 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
	<div data-bbox="496 1473 987 1576" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載

## 政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		美術館
	06	01	01	08	03	

政策
専門職の人材育成

### 政策の内容

地域の文化を支えていく専門職の育成に取り組みます。

### 生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
—	—						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

### 現状・課題

美術館学芸員による「市民向け学芸員講座」を開催し、学芸員の研究成果を市民に還元する機会を設け、美術を身近に感じていただきながら、地域の文化を支えていく人々の育成を行うだけでなく、学芸員自身のスキルアップにつなげている。

地域の文化を支えていく人々の養成、質の高い芸術文化を学ぶ機会を提供することにより、市民への学びの場としての一層の充実を図る。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	0	0			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	0.0	0.0			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	0.0	0.0			
再任用職員(31時間勤務)	0.0	0.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
平常展開催事業	学芸員講座事業 美術館学芸員による「市民向け学芸員講座」の開催	0

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
講座開催数(回)	講座開催数	地域の文化を支えていく人々の養成、文化施設の質の確保として講座開催回数の実績を測る指標であり、実績により市民への学びの場に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	4	4	4	4	4
			実績値	4	4				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
講座参加者数(人)	講座参加者数	地域の文化を支えていく人々の養成、文化施設の質の確保として講座参加者数の実績向上により、多くの方に学びの場を提供することで育成状況を測る指標であり、実績により市民だけでなく、職員の育成向上にもつながると見込んでいる。	目標値	-	200	200	200	200	200
			実績値	138	94				
			達成率	-	47%				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
受講者満足度(%)		1年間の講座にかかる満足度の割合 ※受講者アンケートより実績値を算出。2025年度の途中から設定した指標であるため、2024年度、2025年度の実績値なし。	実績値	—	—					90%
			達成率	—	—					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

## 【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	評価時に記載	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
	評価時に記載

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載

## 政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		中央図書館
	06	01	01	08	04	

政策
専門職の人材育成

### 政策の内容

<p>知の拠点としての図書館機能の拡充を図るため、図書館における専門職の育成に取り組みます。</p>
--

### 生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
—	—						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

### 現状・課題

<p>浜松市図書館ビジョンに基づき、多様な資料を収集し、資料の貸出しやレファレンスサービスなどの事業により、知の拠点としての図書館機能の充実を図っている。 資料収集及びレファレンスサービスでは図書に関する知識、郷土の歴史やそれに関連する資料の知識を有する人材の確保が課題となっている。 そのため、地域の文化を支えていくために必要な専門職の人材を育成する必要がある。</p>
--

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	126	106			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	0.0	0.0			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	0.0	0.0			
再任用職員(31時間勤務)	0.0	0.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
図書館管理運営 事業	1 専門職人材の育成 課内での研修実施や外部研修に積極的に参加し、知識と経験の習得に努める。	106

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
課内及び外部研修回数(回)	課内で実施した研修回数及び外部研修への参加回数 ※実績値は翌年度初旬に確定する。	課内実施研修回数及び外部研修への参加回数の増加により、職員の知識習得の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	39	39	40	40	41
			実績値	35	2026年5月頃確定				
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
課内及び外部研修参加人数(人)	課内で実施した研修及び外部研修への参加人数 ※実績値は翌年度初旬に確定する。	課内及び外部研修への参加状況を測る指標であり、この指標の向上により、職員の知識習得状況の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	136	146	156	166	176
			実績値	126	2026年5月頃確定				
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画指標	指標の定義		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標値 2034年度
職員1人当たりの課内及び外部研修参加回数(回)		職員1人当たりの課内及び研修参加回数 ※実績値は翌年度初旬に確定する。	実績値	1.94	1.94 (2024年度)					3.52
			達成率	55%	55%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

## 【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	評価時に記載	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
	評価時に記載

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載